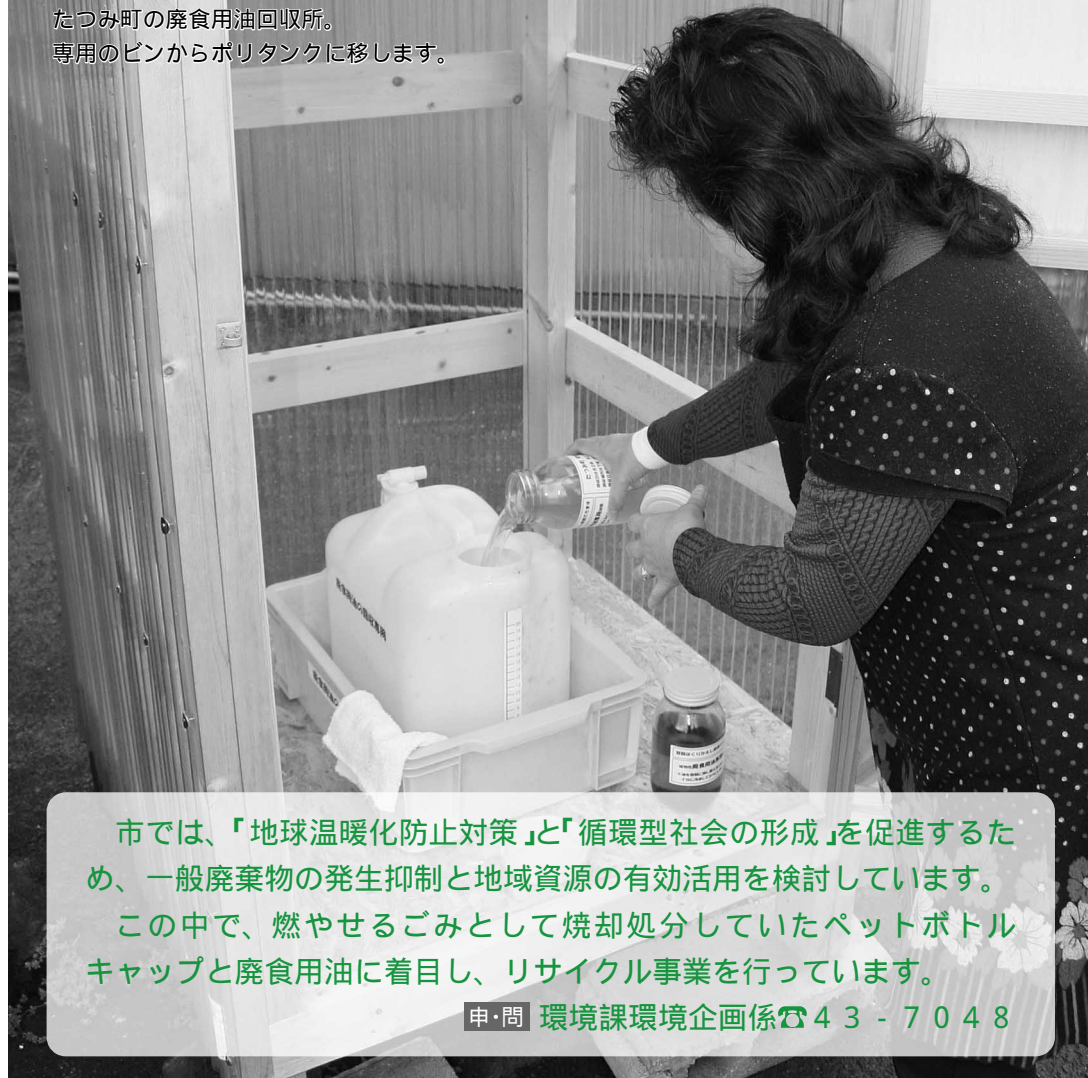


たつみ町の廃食用油回収所。
専用のビンからポリタンクに移します。

ペットボトルキャップ・廃食用油の

リサイクルが進んでいます



市では、「地球温暖化防止対策」と「循環型社会の形成」を促進するため、一般廃棄物の発生抑制と地域資源の有効活用を検討しています。
この中で、燃やせるごみとして焼却処分していたペットボトルキャップと廃食用油に着目し、リサイクル事業を行っています。

申・問 環境課環境企画係 ☎ 4 3 - 7 0 4 8

昨年度のキャップ回収実績

学校名	回収量 [kg]	児童生徒数	一人当たり回収量 (kg/人)
桂城	143.4	345	0.42
城南	305.0	451	0.68
城西	361.1	369	0.98
有浦	232.5	599	0.39
积廻内	114.5	353	0.32
長木	104.0	212	0.49
雪沢	32.3	23	1.40
川口	64.8	144	0.45
上川沿	218.5	223	0.98
成章	95.0	147	0.65
花岡	52.0	140	0.37
矢立	49.1	84	0.58
南	175.0	163	1.07
扇田	338.5	264	1.28
西館	115.6	133	0.87
東館	39.5	128	0.31
大葛	18.5	30	0.62
早口	55.8	107	0.52
岩野目	69.7	21	3.32
山田	50.3	29	1.73
山瀬	120.0	163	0.74
越山	19.2	21	0.91
矢立中	6.0	50	0.12
花岡中	33.6	77	0.44
第二中	28.4	168	0.17
東中	34.7	500	0.07
第一中	413.5	556	0.74
比内中	37.8	275	0.14
成章中	92.1	93	0.99
下川沿中	40.8	89	0.46
南中	42.7	121	0.35
田代中	23.4	212	0.11
国際情報	24.7	260	0.10
合計	3,552.0	6,550	

ペットボトルキャップ
リサイクル事業
ペットボトルのキャップを回収し、リサイクルするのものです。
具体的には、児童生徒の家庭から排出されるペットボトルキャップ（一般廃棄物）を小・中学校で回収し、福祉施設軽井沢福祉園で洗浄し、選別します。その後、秋田ウッド（株）で新建材（AO Mウッド）の原料として使用されます。小・中学校には、キャップの回収量に応じて製品を贈呈します。

この事業は、「学校」「福祉施設」「企業」が協力して進める新たな一般廃棄物
リサイクルモデルとして、全国的に注目を集めています。
平成19年5月から、市内の全小・中学校で回収をスタートしました。今年3月までに約3500kg回収され、ペットボトル数に換算すると約117万本（市民一人当たり14本分）に相当します。
原料となるのは、清涼飲料水のキャップのみです。不要な物が混じるとリサイクル製品の品質を低下させることとなりますので、清涼飲料水以外のキャップ（しょう油などの調味料、化粧品、インスタントコーヒーなどのキャップ）は入れないようにご協力をお願いします。